

平成30年度お茶の水女子大学経営協議会〔第1回〕議事録

日 時:平成30年6月26日(火)15:00～17:10

場 所:お茶の水女子大学 大学本館2階 第一会議室(213室)

出席者:(学外委員)大橋委員、小野委員、北原委員、坂本委員、篠塚委員、野間口委員、村松委員
(学内委員)室伏学長、三浦理事、猪崎理事、森田理事、広瀬理事、佐々木副学長、
加藤副学長、千葉副学長、井戸副学長・事務局長
(陪 席)内海監事、吉武監事
新井文教育学部長、山田理学部長、仲西生活科学部長、
菅原大学院人間文化創成科学研究科長、小玉総合評価室長

1. 開会

審議に先立ち、井戸副学長・事務局長の紹介があった。

2. 議事録(案)の確認

記録内容及び大学ホームページへの掲載について、了承した。

3. 審議事項

(1)平成 29 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

猪崎理事から、平成 29 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について資料に基づき説明があり、文言等の修正があれば学長に一任することとし、審議の結果、原案のとおり承認された。

篠塚委員より、教員個人活動評価において、研究領域の評価期間を「前年までの5年」から「前年」に変更することについて、研究成果は単年度では現れないことが多いが、適切な評価ができるのかとの確認があり、室伏学長より、従前の評価方法では、例えばある年に発表した研究論文がその後5年間評価され続けることとなるため、より適切な評価を行うために改善を行うものであるとの説明があった。また、森田理事より、各教員の個人目標及び自己評価に対するピアレビューを今年度より実施することにより、複数年度に亘る研究及びその成果についても適切な評価を行うことが可能であるとの補足説明があった。

野間口委員より、「CSIRT(シーサート)」の設置に関連して、過去に情報セキュリティについて問題が発生したことはあるかとの確認があり、猪崎理事より、情報セキュリティインシデントに迅速に対応する体制を設けており、これまでに個人情報漏洩等の問題は発生していないとの回答があった。

北原委員より、年俸制適用教員の人数及び 40 歳未満の若手教員の割合についての数値は、目標値であるのかとの確認があり、猪崎理事より、目標値であるとの回答があった。

(2)平成 29 年度決算について

猪崎理事から、平成 29 年度決算について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

野間口委員より、損益計算書の学生納付金収益には、検定料も含まれるのかとの確認があり、鈴木財務課長より、検定料・入学科も含まれるとの回答があった。

篠塚委員より、当期末処分利益を教育研究環境整備積立金又は積立金へ振分ける基準について確認が

あり、鈴木財務課長より、文部科学省の規定に従い、現金の裏付けがある分は教育研究環境整備積立金へ、現金の裏付けがない分は積立金に振分けを行っているとの回答があった。

(3) 平成 31 年度概算要求について

猪崎理事及び井戸副学長・事務局長から、平成 31 年度概算要求について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(4) 国立大学法人お茶の水女子大学土地・建物使用細則の一部改正について

井戸副学長・事務局長より、国立大学法人お茶の水女子大学土地・建物使用細則の一部改正について資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4. 報告事項

(1) 卓越大学院プログラム申請について

森田理事より、卓越大学院プログラムの申請について資料に基づき報告があった。

(2) トランスジェンダー学生の受入れについて

三浦理事より、トランスジェンダー学生の受入れについて資料に基づき報告があった。

村松委員より、トランスジェンダー学生へ適切に対応するためには教職員及び在学生に対する教育が必要ではないかとの意見があった。三浦理事より、トランスジェンダー学生に対する対応ガイドラインを作成して、教職員及び在学生に周知すること、また、教職員及び在学生がトランスジェンダー学生に対応する際に判断に迷った際に相談できる窓口を整備する予定であるとの説明があった。

小野委員より、性同一性障害とは異なり本人の性自認が女性である男性を受入れた場合、ともに在学する女子学生が違和感を持つ可能性があり、女子学生に対する配慮には難しい面があるのではないかとの意見があった。三浦理事より、トランスジェンダー学生の受入れにあたっては、本人の自己申告のみで出願を受け付けるのではなく、専門委員会での出願資格の審査を行うことの説明があった。

北原委員より、非常に重要な問題であり、実際の受入れまでに在学生への説明を十分に行っていただきたいとの意見があった。

(3) 社会連携講座「女性活躍推進連携講座」について

森田理事より、社会連携講座「女性活躍推進連携講座」について資料に基づき報告があった。

(4) 国際交流データについて

佐々木副学長より、国際交流データについて資料に基づき報告があった。

野間口委員より、国別では中国からの留学生が多数であるが、文系、理系いずれの学生が多いのかとの確認があった。佐々木副学長より、文系の学生が多数であるとの回答があった。また、三浦理事より、多数の学生が日本に関する研究を行っているとの補足説明があった。

(5) 外部資金獲得状況について

森田理事及び猪崎理事より、外部資金獲得状況について資料に基づき報告があった。

(6)平成 29 年度卒業生・修了者の進路状況について

三浦理事より、平成 29 年度卒業生・修了者の進路状況について資料に基づき報告があった。

(7)その他

加藤副学長から、平成 30 年 4 月～6 月における本学の主な活動について資料に基づき報告があった。

5. 意見交換

(1)お茶の水女子大学におけるリカレント教育のあり方について

猪崎理事より、「お茶大 女性ビジネスリーダー育成塾 徽音塾」について資料に基づき説明があり、室伏学長より、本学におけるリカレント教育のあり方について、委員の皆様からご助言願いたい旨依頼があった。

■学外委員からの主な意見は以下のとおり。

村松委員:公益財団法人日本女性学習財団においては、「キャリア支援デザイナー」養成等の講座を開講している。受講生に対するアンケートにおいては、外部では女性に特化したキャリア支援の講座が少ないという意見があり、女性のキャリア支援を目的とした講座へのニーズがあることを実感する。また、講座終了後も含め、受講生同士の交流が非常に活発であり、女性同士のネットワーク形成が、個々の女性のエンパワーメントに繋がっている。

北原委員:徽音塾の受講生に対し、講座終了時にさらに学びたいことについて調査を行っているか。また、受講生同士のネットワークは、講座の魅力の一つとなり得るので、受講生の OG 会等を開催してはどうか。

野間口委員:企業、官公庁等において女性リーダーが何故増加しないのか、その理由を分析すれば、この徽音塾で次に取り組むべきステップが明らかになるのではないかと。また、卓越大学院構想及び女性活躍推進連携講座等と連携を持たせ、学内のポテンシャルを十分に活用すべきである。さらに、女性のためのリカレント教育講座は社会に多数存在するため、他との差異を明確にすべきである。

篠塚委員:徽音塾の企画当初から関わっており、開塾当初は受講生に非常に活気があったが、回数を重ねるごとに受講生の人数減少とともに、活気も低下していると感じる。社会環境の変化は非常に速く、3～4 年又はもう少し短いスパンで講座内容を見直してはどうか。また、他所で行っている講座と類似した内容ではなく、お茶の水女子大学ならではの特色ある講座を実施していただきたい。

坂本委員:徽音塾について、附属学校生の保護者等、附属学校関係者への周知を図るべきである。また、定年後等の学び直しの需要もあると思われる。作楽会等同窓会にも広報してはどうか。国際交流留学生プラザを活用し、同窓会と連携していただきたい。

小野委員:女性が受講しやすいよう、平日の夜間に開講する等開講時間を見直してはどうか。また、男性を対象としたジェンダーに関する講座を実施することも、女性の活躍を推進するために必要ではないか。

■本学からの主な回答・発言は以下のとおり。

室伏学長：・德音塾においては単なる座学ではなく、ワークショップ形式等により様々な分野で働く受講生同士の意見交換の場を設けており、受講生の満足度は高い。しかし、今後受講生を増加させるためには、広報を強化する必要がある。

・德音塾は現在、受講対象者を女性のみとしているが、女性が活躍する社会を実現するためには企業幹部等の男性の意識改革も必要であることから、今後、男性に向けた講座も検討したい。

・德音塾は現在、主として働く女性のキャリアアップを目的としているので、働く女性が通学しやすい時間帯を考慮したい。

・キャリアアップに加え、講座内容の幅を広げることを検討したい。

猪崎理事：従前も受講生に対しアンケートを実施しているが、その結果を今後の講座に活かす必要がある。

広瀬理事：自分自身の経験においても、企業で働く女性が共に学ぶ勉強会で築いた交流は長く続いている。女性ならではのキャリアに対する悩みがあり、女性同士のネットワークを形成することが重要である。また、学内人材をより十分に活かし、本学がリーダーシップを取って女性の活躍を推進していきたい。

6. その他

○ 室伏学長より、6月30日に開催予定のグローバル女性リーダー育成研究機構国際シンポジウム「女性政治リーダーはいかにして「育つ」か？」及び8月4日に開催予定のグローバルリーダーシップ研究所公開連続講演会「少子高齢社会における女性リーダーとリベラルアーツ」について資料に基づき説明があり、是非ご参加願いたい旨要請があった。

○ 室伏学長より、平成30年度経営協議会開催予定について資料に基づき説明があり、次回開催は、平成30年10月16日(火)15時からであることを確認した。

以 上